## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number:

2002-322842

(43)Date of publication of application: 08.11.2002

(51)Int.CI.

E05B 49/00 B60J 5/00 B60R 25/00 B60R 25/10 G06K 17/00 // B42D 15/10

(21)Application number: 2001-127088

(71)Applicant : SONY CORP

(22)Date of filing:

25.04.2001

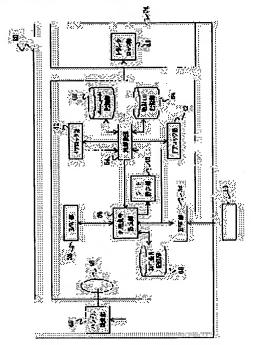
(72)Inventor: KIYOTA KAZUHISA

# (54) DEVICE AND METHOD AND PROGRAM FOR SETTING USE CONDITIONS OF DRIVEN MATTER. AND STORAGE MEDIUM WITH THE PROGRAM STORED THEREIN

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a device for setting the use conditions of a driven matter such as automobile or the like.

SOLUTION: An identification ID for identifying a person using an automobile 30, which is recorded in an IC card 10, is read by a R/W part 52, and a use condition setting part 56 reads use conditions (positions of a handle 36 and a seat, etc.), corresponding to the identification ID read by the R/W part 52 from a use condition recording part 66 and transmits signals to a handle set part 46 and a seat set part 48 to set the user conditions (positions of the handle 36 and the seat, etc.). Accordingly, the use conditions of the automobile 30 can be set by every user.



#### **LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's

Searching PAJ

decision of rejection

[Date of extinction of right]

# (19)日本国特許庁 (JP) (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号 特開2002-322842 (P2002-322842A)

(43)公開日 平成14年11月8日(2002.11.8)

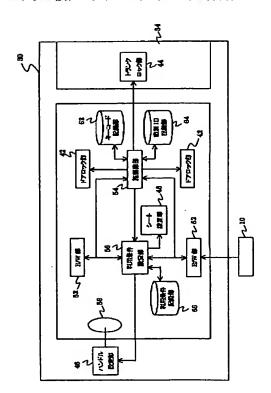
(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	7	·-マコード(参考)
E05B 49/00		E05B 49/00	K	2 C 0 0 5
B60J 5/00		B60J 5/00	Н	2 E 2 5 0
B60R 25/00	6 0 5	B 6 0 R 25/00	605	5B058
25/10		25/10	615	
G06K 17/00		G06K 17/00	L	
	審査請求	未請求 請求項の数10 OL	(全 9 頁)	最終頁に続く
(21)出願番号	特顧2001-127088(P2001-127088)	(71)出顧人 000002185 ソニー株式会	社	
(22)出顧日	平成13年4月25日(2001.4.25)	東京都品川区 (72)発明者 清田 和久 東京都品川区 一株式会社内	北島川6丁目	7番35号 ソニ
	·	(74)代理人 100097490 弁理士 細田		
				最終頁に続く

### (54) 【発明の名称】 被運転物の利用条件設定装置、方法、プログラムおよび該プログラムを記録した記録媒体

#### (57)【要約】

【課題】 自動車等の被運転物の利用条件を設定する装 置を提供する。

【解決手段】 ICカード10に記録された自動車30を 利用する者を識別する識別IDをR/W部52が読み取 り、利用条件設定部56が利用条件記録部66からR/ W部52が読み取った識別IDに対応する利用条件(ハン ドル36、シートの位置等)を読み出して、ハンドル設 定部46、シート設定部48に信号を送り利用条件(ハ ンドル36、シートの位置等)を設定する。これによ り、自動車30の利用条件を利用者ごとに設定できる。



#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】被運転物を利用する者を識別するための識別情報を記録するユーザ用記録媒体と、

前記被運転物と、

を備え、

前記被運転物は、

前記職別情報に対応して前記被運転物の利用条件を記録 する利用条件記録手段と、

前記識別情報に基づき前記利用条件記録手段から前記被 運転物の利用条件を読み出して、前記被運転物の利用条 10 件を設定する利用条件設定手段と、

を備えた被運転物の利用条件設定装置。

【請求項2】請求項1に記載の被運転物の利用条件設定 装置であって、

前記ユーザ用記録媒体は、さらに前記被運転物を施錠または解錠するための鍵情報を記録し、

前記被運転物は、

前記鍵情報を記録する鍵情報記録手段と、

前記ユーザ用記録媒体から前記鍵情報を読み出す情報読 出手段と、

該情報読出手段が読み出した前記鍵情報と前記鍵情報記録手段に記録された前記鍵情報とが一致すれば前記被運転物を施錠または解錠する施解錠手段と、

を備えた被運転物の利用条件設定装置。

【請求項3】請求項2に記載の被運転物の利用条件設定 装置であって、

前記被運転物は、

前記識別情報を記録する識別情報記録手段を有し、

前記施解錠手段は、前記情報読出手段が読み出した前記 鍵情報と前記鍵情報記録手段に記録された前記鍵情報と が一致し、かつ前記ユーザ用記録媒体に記録された前記 識別情報と前記識別情報記録手段に記録された前記識別 情報とが一致すれば前記被運転物を施錠または解錠す る、

被運転物の利用条件設定装置。

【請求項4】請求項1ないし3のいずれか一項に記載の 被運転物の利用条件設定装置であって、

前記被運転物はドアを有し、

前記ドアに所定の操作が加えられた後の所定の時間だけ 前記ユーザ用記録媒体から前記識別情報が読み出され る、

被運転物の利用条件設定装置。

【請求項5】請求項1ないし3のいずれか一項に記載の 被運転物の利用条件設定装置であって、

前記被運転物はドアおよびイグニッションキーを有し、 前記ドアおよび前記イグニッションキーに所定の操作が 加えられた後の所定の時間だけ前記ユーザ用記録媒体か ら前記識別情報が読み出される、

被運転物の利用条件設定装置。

【請求項6】請求項1ないし3のいずれか一項に記載の 50

2

被運転物の利用条件設定装置であって、

前記被運転物はハンドルを有し、

前記利用条件設定手段は前記ハンドルの位置または高さを設定する、

被運転物の利用条件設定装置。

【請求項7】請求項1ないし3のいずれか一項に記載の 被運転物の利用条件設定装置であって、

前記被運転物はシートを有し、

前記利用条件設定手段は前記シートの位置または高さを設定する、

被運転物の利用条件設定装置。

【請求項8】被運転物を利用する者を識別するための識別情報を記録するユーザ用記録媒体と、前記被運転物と、を有する被運転物の利用条件設定装置を使用する被運転物の利用条件設定方法であって、

前記識別情報に対応して前記被運転物の利用条件を記録 する利用条件記録工程と、

前記識別情報に基づき前記利用条件記録工程において記録された前記被運転物の利用条件を読み出して、前記被運転物の利用条件を設定する利用条件設定工程と、

を備えた被運転物の利用条件設定方法。

【請求項9】被運転物を利用する者を識別するための識別情報を記録するユーザ用記録媒体と、前記被運転物と、を有する被運転物の利用条件設定装置を使用する被運転物の利用条件設定処理をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、

前記識別情報に対応して前記被運転物の利用条件を記録する利用条件記録処理と、

前記識別情報に基づき前記利用条件記録処理において記録された前記被運転物の利用条件を読み出して、前記被運転物の利用条件を設定する利用条件設定処理と、

をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【請求項10】被運転物を利用する者を識別するための 識別情報を記録するユーザ用記録媒体と、前記被運転物 と、を有する被運転物の利用条件設定装置を使用する被 運転物の利用条件設定処理をコンピュータに実行させる ためのプログラムを記録したコンピュータによって読み 取り可能な記録媒体であって、

前記識別情報に対応して前記被運転物の利用条件を記録 する利用条件記録処理と、

前記識別情報に基づき前記利用条件記録処理において記録された前記被運転物の利用条件を読み出して、前記被運転物の利用条件を設定力を利用条件設定処理と、

をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータによって読み取り可能な記録媒体。

#### 【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、自動車等の被運転 物の利用条件(例えば、施解錠、ハンドル位置など)の 制御に関する。

#### [0002]

【従来の技術】従来より、自動車のドアロックを施解錠 する際に、キーを使用するかわりにICカードを使用する 技術が知られている。

【0003】この場合、自動車からICカードに対してポーリングを行なうことにより、ICカードの接近を認識する。また、ICカードには、キーに相当するデータが書きこまれている。自動車も、キーに相当するデータを記録するメモリを有する。そこで、ICカードが自動車に接近すると、ICカードに記録されたデータと、自動車が有するメモリに記録されたデータとを対比して、一致すればドアロックを施解錠する。

#### [0004]

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、かかるICカードにはキーに相当するデータのみが記録されるものであり、ドアロック等の施解錠ができるにすぎない。自動車の他の利用条件(例えば、ハンドルの位置など)まで制御することはできない。しかも、ポーリングによって自動車のバッテリーが消費されてしまうという問題も生ずる。

【0005】そこで、本発明は、自動車等の被運転物の 利用条件を設定する装置等を提供することを課題とす る。

#### [0006]

【課題を解決するための手段】本発明は、被運転物の利 用条件設定に関する。

【0007】本発明にかかる被運転物の利用条件設定装置は、ユーザ用記録媒体と、被運転物とを備える。ユーザ用記録媒体は、被運転物を利用する者を識別するための識別情報を記録する。

【0008】被運転物は、利用条件記録手段、利用条件 設定手段を備える。利用条件記録手段は、識別情報に対 応して被運転物の利用条件を記録する。利用条件設定手 段は、識別情報に基づき利用条件記録手段から被運転物 の利用条件を読み出して、被運転物の利用条件を設定す る。

【0009】上記のように構成された発明によれば、ユーザ用記録媒体に記録された識別情報に基づき利用条件記録手段から被運転物の利用条件を読み出して、被運転物の利用条件を設定するため、被運転物を利用する者に 40合わせた利用条件を設定できる。

【0010】本発明にかかる被運転物の利用条件設定装置において、ユーザ用記録媒体は、さらに被運転物を施錠または解錠するための鍵情報を記録することが好ましい。この場合、被運転物は、鍵情報記録手段、情報読出手段、施解錠手段を備えることとする。鍵情報記録手段は、鍵情報を記録する。情報読出手段は、ユーザ用記録媒体から鍵情報を読み出す。施解錠手段は、情報読出手段が読み出した鍵情報と鍵情報記録手段に記録された鍵情報とが一致すれば被運転物を施錠または解錠する。

1

【0011】これにより、ユーザ用記録媒体に記録された鍵情報と被運転物の鍵情報記録手段が記録する鍵情報とが一致すれば、被運転物が施錠または解錠されるため被運転物の不正利用を防止できる。

【0012】このように、識別情報と鍵情報とが分かれているため、被運転物の利用条件を設定でき、しかも被運転物の不正利用も防止できる。

#### [0013]

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面 を参照して説明する。

【0014】図1は、本発明の実施の形態にかかる被運 転物の利用条件設定装置の被運転物の外観を示す図であ る。図1(a)に示すように、本発明の実施の形態にお ける被運転物は自動車(被運転物)30である。ただ し、被運転物は運転されるものであれば、他に車両一 般、船舶、航空機などでもよい。自動車30は、ドア3 2、トランク34を備える。ドア32、トランク34 は、ロックされており、所定の条件の下、施解錠でき る。ドア32は、ドア32をあけるためのドアノブ32 aが設けられている。また、ドア32には、後述するア ンテナ52a、LED52b (発光ダイオード: Light Emitted Diode) が設けられている。図1 (b) は、ド ア32を除去したときの自動車30の側面図である。自 動車30の内部には、ハンドル36、シート38が備え られている。ハンドル36およびシート38には、それ ぞれ前、中、後の位置に設定できる。なお、ハンドル3 6およびシート38の高さも設定可能である。

【0015】図2は、自動車30のアンテナ52aにかざすICカード(ユーザ用記録媒体)10を示す図である。図2(a)に示すようにICカード(ユーザ用記録媒体)10は長方形状の底面を持ち、薄いものである。ただし、ICカード(ユーザ用記録媒体)10の機能を携帯電話に代表される携帯端末機に実装した場合は、ICカード(ユーザ用記録媒体)10の外観は携帯電話等の外観になる。

【0016】ICカード10は、図2(b)に示すように、情報記録部12、情報送受部14、RF部16(Radio Frequency)、アンテナ18を備える。情報記録部12は、複数のアプリケーション12a、12b、…、12eを記録する。アプリケーション12aには、一種の情報の集合体である。アプリケーション12aには、キーコード(鍵情報)22、識別ID(識別情報)24、その他データ26が記録されている。キーコード(鍵情報)22は、自動車30を施錠または解錠するための鍵としての機能を果たす情報である。識別ID(識別情報)24は、自動車30を利用する者、特に運転する者を識別するための識別情報である。その他データ26は、自動車30の利用条件を設定するために使用できるデータである。

□ 【0017】キーコード(鍵情報)22は、例えば"13

579"のような数字により構成されるコードであってよい。ただし、数字の他に、アルファベット文字、記号を、キーコード(鍵情報)22は含んでいてもよい。識別ID(識別情報)24は、例えば"A"、"B"のようなアルファベット文字により構成されるコードであってよい。ただし、アルファベット文字に替えて、識別ID(識別情報)24は、数字、記号を用いた名前、ニックネーム、イニシャル、単に数字の番号であってもよい。なお、キーコード(鍵情報)22、識別ID(識別情報)24が何によって構成されるかは、自動車30の後述するキーコード記録部(鍵情報記録手段)62、識別ID記録部(識別情報記録手段)62、識別ID記録部(識別情報記録手段)64の仕様に基づいて定められる。

【0018】なお、アプリケーション12a等は複数、情報記録部12に記録されており、アプリケーション12a以外の他のアプリケーション12b、…、eには、また別の情報が記録されている。例えば、アプリケーション12b、…、eには、定期券、電子マネー、チケット等の情報が記録されていてもよい。

【0019】情報送受部14は、情報記録部12からアプリケーション12a等を読み出してRF部16 (Radio Frequency) に送る。RF部16 (Radio Frequency) は、情報送受部14から送られてきた情報をRF信号に置き換える。アンテナ18は、RF部16が出力するRF信号を出力する。

【0020】なお、RF部16 (Radio Frequency) が、アンテナ18から送られてきた信号を情報送受部1 4に送り、情報送受部14が情報記録部12からアプリケーション12a等に書きこむことも可能である。

【0021】また、ICカード10は、外部からの電波による誘起電力で動作することが好ましい。ICカード10に電池を内蔵する場合と比べて、電池切れの心配が少ない。

【0022】図3は、自動車30の内部の構成を示すブロック図である。自動車30は、ドア32(図示省略、図1(a)参照)、トランク34、ハンドル36、シート38(図示省略、図1(b)参照)、ドアロック部42、トランクロック部44、ハンドル設定部46、シート設定部48、R/W部(Read/Write:情報読出手段)52、施解錠部54、利用条件設定部56、キーコード記録部(鍵情報記録手段)62、識別ID記録部(識別情報記録手段)64、利用条件記録部66を備える。

【0023】ドアロック部42は、施解錠部54からの信号を受けて、ドア32の施錠および解錠を行なう。トランクロック部44は、施解錠部54からの信号を受けて、トランク34の施錠および解錠を行なう。

【0024】ハンドル設定部46は、利用条件設定部56からの信号を受けて、ハンドル36の位置等を設定する。シート設定部48は、利用条件設定部56からの信号を受けて、シート38の位置等を設定する。

6

【0025】R/W部 (Read/Write:情報読出手段) 52は、ICカード10から情報を読出し、あるいは書き こむ。なお、R/W部(Read/Write:情報読出手段) 52は、アンテナ52a、LED52b (図1 (a) 参 照)を有する。アンテナ52aは、ICカード10と通信 を行なうためのアンテナである。なお、アンテナ52a は、厚みの薄い円板の形状をしている。 LED52b は、発光体であり、自動車30の利用者にアンテナ52 aの位置を知らせる機能を果たす。なお、R/W部 (Re ad/Write:情報読出手段) 5.2 は、ドア32、ドアノ ブ32aおよび自動車30のイグニッションキーと接続 され、ドア32等の所定の操作に応じて起動する。例え ば、ドアノブ32aが引かれる、または、イグニッショ ンキーが抜かれかつドア32が閉じられる、といった操 作に応じてR/W部 (Read/Write:情報読出手段) 5 2は起動する。また、R/W部 (Read/Write:情報読 出手段) 52は、電波をICカード10に向けて発し、IC カード10を誘起電力により動作させることが好まし

【0026】施解錠部54は、R/W部52が読み出し たキーコードとキーコード記録部62に記録されたキー コードとが一致すれば自動車30を施錠または解錠す る。すなわち、自動車30のドア32およびトランク3 4を施錠または解錠する。なお、施解錠部54は、上記 のようなキーコードの一致の判定に加え、R/W部52 が読み出した識別IDと識別ID記録部64に記録された識 別IDとが一致するか否かをも判定し、識別IDも一致すれ ば自動車30を施錠または解錠するようにすることが好 ましい。なお、ここでいう一致とは、R/W部52が読 み出したキーコード (識別ID) が、キーコード記録部 6 2 (識別ID記録部64) に記録されたキーコード (識別 ID) に含まれている関係も含んでよい。例えば、R/W 部52が読み出した識別IDが "A" であり、識別ID記録 部64に記録された識別IDが "A、B" であれば、識別 IDが一致するとしてよい。

【0027】利用条件設定部56は、R/W部52が読み出した識別IDに基づき、利用条件記録部66から自動車30の利用条件(ハンドル36、シート38の位置等)を読み出して、自動車30の利用条件を設定する。
40 【0028】キーコード記録部(鍵情報記録手段)62は、自動車30を施錠または解錠するためのキーコードを記録する。識別ID記録部64(識別情報記録手段)は、自動車30を利用する者、特に運転する者を識別するための識別IDを記録する。利用条件記録部66は、識別IDに対応して自動車30の利用条件(ハンドル36、シート38の位置等)を記録する。利用条件記録部66の記録内容の一例を図4に示す。図4の例では、識別IDがAである利用者は、利用条件としてハンドル36の位置が後、シート38の位置は前といったことが記録されている。

【0029】なお、利用条件は、ハンドル36およびシート38の位置、高さの他に、オーディオ機器、TV等のビジュアル機器、ナビゲーションシステムなどの設定も含まれる。オーディオ機器における、低音(BASS)/高音(TREB)/左右スピーカの音量バランス調節(BAL)/周波数特性の調節(EQ)等の音質調整に関する条件を利用条件として利用条件記録部66に記録してもよい。TV等のビジュアル機器における、明るさ/コントラスト等の画質調整に関する条件を利用条件として利用条件記録部66に記録してもよい。ナビゲーションシステムにおける、他人には見られたくない情報(マーク、走行軌跡、検索ルート等)を利用条件として利用条件記録部66に記録してもよい。これにより、オーディオ機器、TV等のビジュアル機器のカスタマイズや、ナビゲーションシステムのプライバシー保護が図れる。

【0030】次に、本発明の実施形態の動作を説明する。

【0031】図5に、自動車30の解錠および利用条件の設定の手順を示す。まず、自動車30の利用者がICカード10を自動車30のR/W部52にかざして、R/W部52がICカード10からキーコードおよび識別IDを読み出す(S10)。ICカード10からのキーコードおよび識別IDの読出しの詳細な手順については図6のフローチャートを参照して説明する。

【0032】まず、ドアノブ32aが引かれたか否かを R/W部52は判定する(S11)。ドアノブ32aが 引かれていなければ(S11、No)、そのままドアノ ブ32aの状態の判定(S11)に戻る。ドアノブ32 a が引かれれば (S11、Yes)、R/W部52が起 動する(S12)。そして、LED52bが点灯する (S13)。これにより、ICカード10をかざすべきア ンテナ52aの位置がユーザに確実にわかる。R/W部 5 2 はポーリングを行なう (S14)。そして、R/W 部52はアンテナ52aにICカード10がかざされてい るか否か、すなわちR/W部52にICカード10が接近 しているか否かを判定する(S15)。ICカード10が 接近していなければ(S15、No)、所定時間経過し たか否か、すなわちtime outしたか否かを判定する(S 16)。time outしていなければ(S16、No)、ポ ーリング (S14) に戻る。time outすれば (S16、 Yes)、終了し、R/W部52はスタンバイ(低消費 電力) 状態に遷移する。ICカード10が接近すれば(S 15、Yes)、LED52bを消灯する(S17)。 そして、R/W部52は、ICカード10からのキーコー ドおよび識別IDを読み出す(S18)。

【0033】図5に戻り、施解錠部54は、キーコード 記録部62に記録されたキーコードを読み出す。そし て、R/W部52が読み出したキーコードとキーコード 記録部62から読み出したキーコードとが一致するか否 かを判定する(S22)。キーコードが一致しなければ 50 (S31b) に戻る。ドア32が閉じられれば(S31b) に戻る。ドア32が記動する(S32b) これによりに表する。ドア32が記動する(S32b) に表する。ドア32が記動する(S32b) に表する。ドア32が記載したまする(S32b) に表する。ドア32が記述したまする(S32b) に表する(S32b) に表

8

(S22、No)、処理を終了する。キーコードが一致すれば(S22、Yes)、施解錠部54は、識別ID記録部64に記録された識別IDを読み出す。そして、R/W部52が読み出した識別IDと識別ID記録部64から読み出した識別IDとが一致するか否かを判定する(S24)。識別IDが一致すれば(S24、No)、処理を終了する。識別IDが一致すれば(S24、Yes)、施解錠部54は、ドアロック部42およびトランクログ部44に解錠する旨の信号を送り、ドア32およびトランク34を解錠する(S26)。そして、利用条件設定部56は、R/W部52が読み出した識別IDに基づき、利用条件記録部66から自動車30の利用条件(ハンドル36、シート38の位置等)を読み出して、ハンドル設定部46およびシート設定部48に送り、自動車30の利用条件を設定する(S28)。

【0034】例えば、ICカード10には、キーコード22として、"13579"が記録され、識別IDとして、"A"が記録されているとする。ここで、キーコード記録部62に、キーコード"24680"が記録されていたとすれば、解錠されない。キーコードが一致しないからである。また、キーコード記録部62に、キーコード"13579"が記録されていたとしても、識別ID記録部64に"B、C"が記録されていたとすれば、解錠されない。識別IDが一致しないからである。キーコード記録部62に、キーコード"13579"が記録され、しかも、識別ID記録部64に"A、B"が記録されていたとすれば解錠される。ここで、利用条件記録部66の記録内容が図4に示すようなものである場合、識別ID"A"に対応して、ハンドル36を"後"に、シート38を"前"に位置させる。

【0035】図7に、自動車30の施錠の手順を示す。まず、自動車30の利用者がICカード10を自動車30のR/W部52にかざして、R/W部52がICカード10からキーコードおよび識別IDを読み出す(S30)。ICカード10からのキーコードおよび識別IDの読出しの詳細な手順については図8のフローチャートを参照して説明する。

【0036】まず、イグニッションキーが抜かれたか否かをR/W部52は判定する(S31a)。イグニッションキーが抜かれていなければ(S31a、No)、そのままイグニッションキーの状態の判定(S31a)に戻る。イグニッションキーが抜かれれば(S31a、Yes)、ドア32が閉じられたか否かをR/W部52は判定する(S31b)。ドア32が閉じられていなければ(S31b、No)、そのままドア32の状態の判定(S31b)に戻る。ドア32が閉じられれば(S31b、Yes)、R/W部52が起動する(S32)。そして、LED52bが点灯する(S33)。これにより、ICカード10をかざすべきアンテナ52aの位置がユーザに確実にわかる。R/W部52はポーリングを行

なう (S34)。そして、R/W部52はアンテナ52 aにICカード10がかざされているか否か、すなわちR /W部52にICカード10が接近しているか否かを判定 する (S35)。ICカード10が接近していなければ (S35、No)、所定時間経過したか否か、すなわち time outしたか否かを判定する (S36)。 time outし ていなければ(S36、No)、ポーリング(S34) に戻る。time outすれば (S36、Yes)、終了し、 R/W部52はスタンバイ(低消費電力)状態に遷移す る。ICカード10が接近すれば(S35、Yes)、L ED52bを消灯する(S37)。そして、R/W部5 2は、ICカード10からのキーコードおよび識別IDを読 み出す(S38)。

【0037】図7に戻り、施解錠部54は、キーコード 記録部62に記録されたキーコードを読み出す。そし て、R/W部52が読み出したキーコードとキーコード 記録部62から読み出したキーコードとが一致するか否 かを判定する(S42)。キーコードが一致しなければ (S42、No)、処理を終了する。キーコードが一致 すれば (S42、Yes)、施解錠部54は、識別ID記 20 録部64に記録された識別IDを読み出す。そして、R/ W部52が読み出した識別IDと識別ID記録部64から読 み出した識別IDとが一致するか否かを判定する(S4 4)。識別IDが一致しなければ(S44、No)、処理 を終了する。識別IDが一致すれば(S44、Yes)、 施解錠部54は、ドアロック部42およびトランクロッ ク部44に施錠する旨の信号を送り、ドア32およびト ランク34を施錠する(S46)。

【0038】例えば、ICカード10には、キーコード2 2として、"13579"が記録され、識別IDとして、"A" が記録されているとする。ここで、キーコード記録部6 2に、キーコード"24680"が記録されていたとすれ ば、施錠されない。キーコードが一致しないからであ る。また、キーコード記録部62に、キーコード"1357 9"が記録されていたとしても、識別ID記録部64に "B、C"が記録されていたとすれば、施錠されない。 に、キーコード"13579"が記録され、しかも、識別ID

識別IDが一致しないからである。キーコード記録部62 記録部64に "A、B" が記録されていたとすれば施錠 される。

【0039】本発明の実施形態によれば、ICカード10 に記録された識別ID24に基づき利用条件記録部66か ら自動車30の利用条件(ハンドル36、シート38の 位置)を読み出して、自動車30の利用条件(ハンドル 36、シート38の位置)を設定するため、自動車30 を利用する者に合わせた利用条件を設定できる。

【0040】しかも、ICカード10に記録されたキーコ ード22とキーコード記録部62が記録するキーコード とが一致すれば、自動車30が施錠または解錠されるた め自動車30の不正利用を防止できる。

10

【0041】このように、識別IDとキーコードとが分か れているため、自動車30の利用条件を設定でき、しか も自動車30の不正利用も防止できる。仮に、キーコー ドのみを使用する場合は、一台の自動車30に複数の利 用者が認められている場合は、キーコードだけではどの 利用者が利用(運転)しようとしているのか自動車30 は判定できない。しかし、識別IDが使用されるので、ど の利用者が利用(運転)しようとしているのかが判定で き、利用者にあわせた自動車30の利用条件を設定でき

【0042】さらに、解錠時には、ドアノブ32aが引 かれてからR/W部52が起動し、施錠時には、イグニ ッションキーが抜かれ、かつドア32が閉じられてから R/W部52が起動する。これにより、R/W部52の 消費電力が減少し、自動車のバッテリーの消耗を減少で きる。

【0043】また、上記の実施形態は、以下のようにし て実現できる。ICカード10および自動車30が、CP U、ハードディスク、フラッシュメモリ、メディア(フ ロッピーディスク、CD-ROM、メモリスティックな ど) 読み取り装置を有するコンピュータを備えるとす る。このコンピュータのメディア読み取り装置に、上記 の各部分を実現するプログラムを記録したメディアを読 み取らせて、ハードディスク、フラッシュメモリなどに インストールする。このような方法でも、上記の機能を 実現できる。

#### [0044]

【発明の効果】本発明によれば、ユーザ用記録媒体に記 録された識別情報に基づき利用条件記録手段から被運転 30 物の利用条件を読み出して、被運転物の利用条件を設定 するため、被運転物を利用する者に合わせた利用条件を 設定できる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態にかかる被運転物の利用条 件設定装置の被運転物(自動車30)の外観を示す図で あり、自動車30の側面図(図1(a))、ドア32を 除去したときの自動車30の側面図(図1(b))であ

【図2】自動車30のアンテナ52aにかざすICカード (ユーザ用記録媒体) 10を示す図であり、外観を示す 平面図(図2 (a))、機能プロック図(図2 (b)) である。

【図3】自動車30の内部の構成を示すブロック図であ

【図4】利用条件記録部66の記録内容の一例を示す図

【図5】自動車30の解錠および利用条件の設定の手順 を示すフローチャートである。

【図6】自動車30の解錠および利用条件の設定におけ 50 る、ICカード10からのキーコードおよび識別IDの読出

11

しの詳細な手順を示すフローチャートである。

【図7】自動車30の施錠の手順を示すフローチャートである。

【図8】自動車30の施錠における、ICカード10からのキーコードおよび識別IDの読出しの詳細な手順を示すフローチャートである。

#### 【符号の説明】

- 10 ICカード (ユーザ用記録媒体)
- 12 情報記録部
- 12a-e アプリケーション
- 14 情報送受部
- 16 RF (Radio Frequency) 部
- 18 アンテナ
- 22 キーコード (鍵情報)
- 24 識別ID (識別情報)
- 26 その他データ
- 30 自動車(被運転物)

(7)

- 32 ドア
- 32a ドアノブ
- 34 トランク
- 36 ハンドル
- 38 シート
- 42 ドアロック部
- 44 トランクロック部
- 46 ハンドル設定部
- 48 シート設定部
- 10 52 R/W部 (情報読取手段)
  - 52a アンテナ
  - 52b LED
  - 54 施解錠部
  - 5 6 利用条件設定部
  - 62 キーコード記録部 (鍵情報記録手段)
  - 6 4 識別ID記録部 (識別情報記録手段)
  - 6 6 利用条件記録部

【図1】

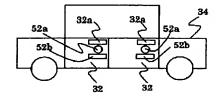


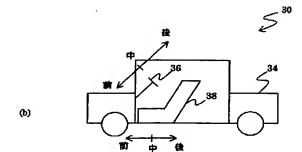


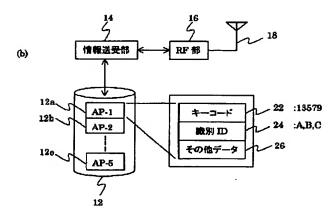


【図2】

(a)





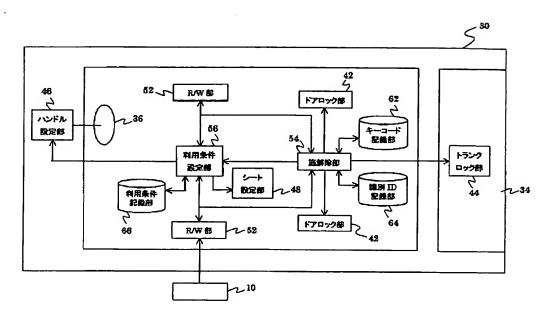


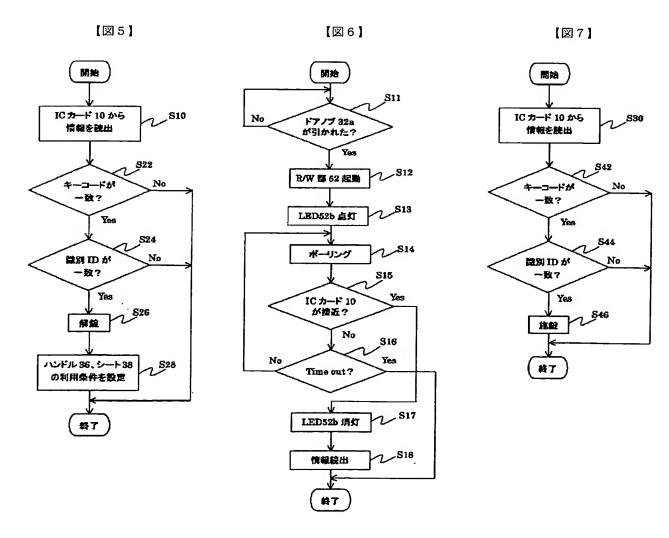
【図4】

564

	利用条件		
羅別 ID	ハンドル	シート	
Α.	後	前	
В	ф	ф	
С	Ħ	회	

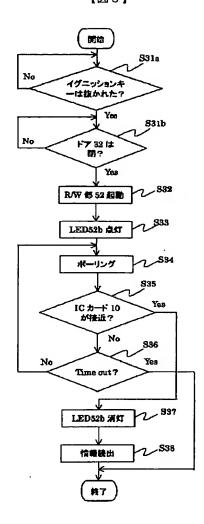
【図3】





(9)

【図8】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. <sup>7</sup>

識別記号

FΙ

テーマコード(参考)

// B 4 2 D 15/10

5 2 1

B 4 2 D 15/10

5 2 1

F ターム(参考) 2C005 MA03 MB06 NA09 SA06 SA13

2E250 AA21 BB08 BB26 BB35 BB59

BB65 BB67 CC26 DD06 EE03

FF26 FF35 HH01 JJ03 KK03

LL00 LL01 LL14 LL18 LL20

PP12 SS05 SS11 TT03

5B058 CA17 KA02 KA04 KA21 YA13